

幸福の科学＋大石寺＋ダライ・ラマ



- 幸福の科学総合本部 6.22km - 宮中三殿 - 大教寺 6.22km
- - 大善寺 6.22km
- - 薬王院 6.22km
- - 大龍寺 6.22km

幸福の科学

大川隆法が 1986 年 10 月 6 日に、設立した新宗教である。幸福の科学によれば、仏法真理の流布による人類幸福化を掲げている。発足以前の 1985 年から、イエス・キリストや孔子などの歴史上の偉人・宗教家などが大川隆法の口を通じて語ると主張し、(チャネリング) という内容の書籍(霊言集)を多数出版している。

世界 100 カ国以上に会員組織がある。世界通称として「Happy Science」を使用。関連団体に日本国外の宗教法人 56 の他、幸福の科学出版、幸福実現党、幸福の科学学園などがある。

大学卒業を控えた 1981 年 3 月 23 日に日興(日蓮六老僧)との間で「霊道」を開き、卒業して商社マンとして勤める一方、この時期に宗教家としての「霊的覚醒」が始まったとされる。その後、日蓮、空海、イエス・キリストと通信した内容を集めて幸福の科学の初期の霊言集が完成したという。

本尊は主エル・カンターレ。根本経典は『仏説・正心法語』。創始者・総裁である大川隆法の代表作『太陽の法』をはじめ、歴史上の人物や政治家、著名人などの霊言を含む多数の出版物による布教スタイルが特徴である。大川隆法が多数の法話で説いた「仏法真理」を教義とし、仏法真理の探究・学習・伝道

を通じての「この世とあの世を貫く幸福」と地上ユートピアの建設を目指しているとする。

修行の実践については、現代の四正道として「愛・知・反省・発展」を提唱している。人間は神の子・仏の子であることを自覚した上で他者へ愛を与え、真理を探求し、自分の心を見つめ直し、社会全体を向上させる心構えを持つことを現世の「魂修行」とする。また、世界観として多元宇宙論を展開し、三次元世界（この世）は根源神に近づくための「魂の修行の場所」とされている。これらの教義は伝統宗教とのつながりが弱く、先行する新宗教である生長の家と GLA の影響を強く受けている。

本尊の至高神 エル・カンターレは、霊天上界に存在するとされる。エル・カンターレは、奈良県の東大寺盧舎那仏像が象徴するところの大毘盧遮那仏（大仏）を指すという。大日如来と呼ばれ、成立の起源を、ゾロアスター教の善の最高神アフラ・マズダーに求める学説がある。

1999年10月31日には現状の品川区東五反田の新総合本部ビルに移転している。

また、1996年7月10日には、総本山・宇都宮正心館（後に「総本山・正心館」に改称）が竣工され、8月に開山した。

東京都品川区東五反田1丁目2-38

大教寺

日蓮宗寺院の大教寺は、真如山と号す。大乘院大僧都日達聖人（万治4年1661年寂）が開山となり下高井戸に創建、正徳3年（1713）に下馬引澤（駒沢）へ移転、明治28年（1895年）に当地へ移転したという。東京都目黒区青葉台4丁目7-7

大善寺

真宗大谷派寺院 阿弥陀如来 東京都渋谷区本町5丁目31-5

薬王院

真言宗豊山派の寺院。鎌倉時代、相模国（現在の神奈川県）大山寺を中興した願行上人によって創建されたといわれる。その後荒廃したが、江戸時代により実寿上人が中興した。しかし、その後の火災でまたも荒廃し、明治時代になってから再興された。なお、江戸時代までは近隣の下落合氷川神社の別当寺でもあった。東京都新宿区下落合4丁目8-2

大龍寺

創建は慶長年間、当初は不動院浄仙寺と号していたが、天明年間に観鏡光顕という僧が中興し、大龍寺と号し、本尊は、かつては不動明王だったとも言われている。近代日本を代表する俳人の正岡子規をはじめ、E・H・ハウス、横山作次郎、板谷波山、大川平三郎、木村芳雨の墓がある。正岡子規は、生前「静かな寺に葬って欲しい」と言っていたとされており、死後当寺院が選ばれて葬られた。これに因み、当寺院は子規寺とも呼ばれている。当寺院に隣接して上田端八幡神社があり、当寺院は別当寺であった。

東京都北区田端4丁目18-4

備考

日蓮宗日達の大教寺と同距離になることにより皇居の天照大神より気を引き送るしくみ。明治に大教寺が皇居から気を引くために再興したしくみを利用した。そして、この場所は他の寺院とも繋がる絶妙な場所といえる。次頁からを参照。

中道院 + 聖路加国際病院



- 中道院 6.23 - 幸福の科学総合本部 - 宮中三殿 6.23km
- - 聖路加国際病院 6.23km
- - 聖路加タワー 6.23km
- - カトリック麹町教会 6.23km
- - 蓮乗院 6.23km
- - 真成院 6.23km
- - 創価学会新宿文化会館 6.23km
- - 雲照寺 6.23km
- - 天理教原宿分教会 6.23km

中道院

日蓮宗の寺院。池上本門寺の子院。六老僧のひとり、日頂が南の谷の先に開創した庵室を現在地に移す。六老僧（ろくろうそう）は、日蓮宗で、日蓮が臨終に際して指名した6人の高弟をさす。日昭、日朗、日興、日向、日頂、日持のこと。日陽の隠棲後中道院と呼ばれる。1754年（宝暦4年）不二庵を合併。東京都大田区池上1丁目-35-5

聖路加（ルカ）国際病院

事業主体は、学校法人聖路加国際大学。東京都心部では最もよく知られる病院のひとつである。1902年に設立され、戦前の旧病棟の建設にあたっては多額の資金を下賜されるなど、皇室との関係もあった。名誉院長にはメディア出演や本の出版などで知られる日野原重明が就任しているほか、「医療社会事業科」が設置されて医療ソーシャルワーカーが常駐している。関連組織として、公益財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所を併設している。いわゆる「病院ランキング」などでは、しばしば上位に評価されるほか、研修医の初期臨床研修施設としても知られ、虎の門病院など並んで日本で最も医学生の人気の高い研修先のひとつとなっている。新病院は1992年の竣工で、アメリカ合衆国のユタ州ソルトレイクシティにあるセントマークス病院（1973年）をモデルに[7]日建設計によって設計された。病室は患者のプライバシーへの配慮と感染防御の観点から、小児病棟、緩和ケア病棟、集中治療室を除いた病床のすべてが個室となっている。

東京都中央区明石町9-1

聖路加タワー・レジデンス

このツインタワー部分は「第3街区」と呼ばれ、病院の敷地を構成する3街区のうちの最も隅田川寄りの街区に建設された超高層ビルディング形態の棟。47階建てと38階建ての高低差がある特徴的なデザインのツインタワー構造で東京湾岸のスカイラインを造形する代表的な建築物として知られている。47階建ての棟の3・4階には予防医療センター（人間ドック）があり、その上部はオフィスフロアとして賃貸されている。かつて、大手広告代理店電通の大半の部署が汐留に新本社ビルを完成させる前にこの部分に入居していた。東京都中央区明石町8-1

カトリック麹町教会（聖イグナチオ教会）

聖イグナチオ教会ことカトリック麹町教会は、カトリック東京大司教区の教会およびその聖堂である。イエズス会に運営を委託されており、上智大学に隣接する。

1949年（昭和24年）4月17日に土井辰雄により献堂式が行われた。教会堂名は設計担当の名前と、イエズス会の創立者イグナチオ・デ・ロヨラに因んで「聖イグナチオ」と命名された。2008年（平成20年）12月時点での信徒数は13,966人、2009年（平成21年）には14,382人となり、信徒数では日本最大規模の教会である。

聖イグナチオ教会も上智学院もイエズス会と関係を有している。それ故、聖イグナチオ教会と上智大学との間には密接な関係があるとみなして差し支えない。

東京都千代田区麹町6丁目6-5-1

蓮乗院

真言宗豊山派。本尊 阿弥陀如来。寺の歴史不詳。天正年間（1573～92）の創建で、慶長16年（1611）麹町から現在地に移転してきたという。東京都新宿区若葉2丁目8

真成院

当寺院は、豊臣秀吉が死去した年にあたる慶長三年（1598）、祈禱僧である清心法印によって開山。江戸城外濠工事のため、幕府に替地として与えられた四谷に移転し、その後、本堂と観音堂が失われてしまったものの、天保八年（1837）に再建。その頃に描かれた『江戸名所図会』では、「四谷の四名所の一つ」に数えられている。昭和25年5月、空襲によって当寺院はふたたび烏有に帰したが、戦後に再建。昭和46年に、現在の寺院に生まれ変わる。東京の土地事情を鑑み、当時としては珍しい室内墓地－四谷霊廟－を全国に先駆けて建立した。

東京都新宿区若葉2丁目7-8

創価学会新宿文化会館

雲照寺

東寺真言宗寺院の雲照寺は、代々木山と号し、東寺真言宗の別格本山です。雲照寺は、明治時代の名僧釈雲照が開いた目白僧園が、雲照の歿後生前の高徳を慕って、大正十年小石川目白台にあった京都東寺の末寺蔵王寺を、当地に移転させ雲照寺と改めたといひます

東京都渋谷区西原3丁目31-1

天理教原宿分教会

塩澤道子 昭和14年東京生まれ、天理教理実分教会丸山時次女として生を受ける。昭和36年塩澤好一と結婚。昭和38年原宿布教所設立。昭和43年原宿分教会設立。昭和64年平成元年初代会長好三出直し、平成2年好一、原宿分教会2代会長就任、平成8年好一「道の経営者の会」設立、平成16年2代会長好一出直し、同年道子、原宿分教会就任、平成20年渋谷区上原の地へ教会移転落築落成奉告祭。著書「毎日を快適に過ごしましょう」

備考

日蓮宗六老僧のひとり日頂の中道院とつながる。よど号ハイジャック事件やオウムサリン事件の関与、石橋湛山首相の暗殺疑惑などが噂される日野原重明氏の聖路加国際病院とも繋がる。大川隆法は日蓮、空海、イエスキリストと通信したとされるだけあって真言宗やイエズス会とも繋がるしくみになっている。



しくみ ～定規とコンパス～「明治～現代編」2017

日蓮正宗総本山 大石寺



- 幸福の科学本部 110.64km - 大石寺 - ダライ・ラマ法王日本代表部事務所 110.64km
- - 東京オンヌリキリスト教会 110.64km

日蓮正宗総本山 大石寺

大石寺（たいせきじ）は、日蓮正宗の寺院であり、寺格は総本山。正応3年10月12日（1290年11月15日）、第二祖で六老僧のひとり日興によって開創された。寺号の大石寺は地名の大石ヶ原（おおいしがはら）に由来する。開基檀那は南条時光。

日蓮の六人の弟子の一人日興は身延の地頭・波木井実長と意見の相違で身延山久遠寺を離山。後に、上野の地頭であった南条朝臣時光の招請を受けて正応3年（1290年）、富士山麓の大石ヶ原に移り住んだのが大石寺のはじまりである。

日蓮正宗では、大石寺に参詣することを「総本山に登る」という意味から「登山」という。1950年代初期に、創価学会の第二代会長・戸田城聖によって、創価学会員の大石寺への月例登山会が実施されるようになった。その後、法華講（古くからの信徒組織）でも、法華講連合会の発足後は、法華講員の月例登山会などを行なうようになったが、それ以降、1991年に日蓮正宗宗門が創価学会に破門を通告するまでの間は、学会員の登山者数の方が、法華講員の登山者数よりも圧倒的に多かった。現在（学会員が日蓮正宗の信徒資格を喪失した1997年以降）は、大石寺に登山・参詣できるのは、法華講員のみに限られる。静岡県富士宮市上条2057

ダライ・ラマ法王日本代表部事務所

日本のダライ・ラマ法王及びチベット亡命政権「ガンデンポタン」の代表機関。所在地は東京都新宿区。管轄区域は日本を含む東アジア地域であり、1976年より業務を行っている。日本代表部事務所の責任者はダライ・ラマ法王によって直接任命されており、現在はラクパ・ツォコ。主な業務としては「チベット通信」の発行や講演のほか、一般に開放されている図書室がある。東京都新宿区西落合3丁目25

東京オンヌリキリスト教会

韓国系教会。東京都新宿区北新宿3丁目39-7

備考

大川隆法が学生の時にはじめて霊道を開いたとされる日蓮宗の日興が創建した大石寺とつながる。さらに、阿含宗に仏舍利を贈り、オウム真理教やCIAと関係あるとされるダライ・ラマの事務所とも。